

お役立ち情報

# フカボリ!

このコーナーでは、皆さまのお役に立つタイムリーな情報を、深掘りしてお届けします。

今回は運送事業者の皆さまに向けて

## 「物流の2024年問題」をフカボリ!

Part 2 対策編

### 01

「物流の2024年問題」の対策はどうすればいいの?



物流の2024年問題とは、働き方改革法案によりトラックドライバーの労働時間が短くなり、輸送能力が不足することで「モノが運べなくなる」可能性があるというものです。その対策に向けて、ドライバー確保をはじめ必要になってくるのが、「**荷主企業へのお願い**」と「**荷主企業との連携**」になります。

### 02

「荷主企業へのお願い」って何?

ドライバーの確保・定着には原資が欠かせません。そこで荷主企業にお願いすることは、大きく2つ。「**標準的な運賃の收受**」と「**運送以外で発生する料金の收受**」です。

「標準的な運賃の收受」とは

ドライバーの労働環境改善や働き方改革に取り組むために、適正な運賃を收受する必要があります。そこで荷主企業と運賃交渉を行う際に有力な支えになるのが、国土交通省の定める「標準的な運賃」です。



標準的な運賃について詳しくはこちら

「運送以外で発生する料金の收受」とは

燃料サーチャージや附帯作業料金、高速道路利用料などは標準的な運賃には含まれていないため、別途收受します。そのため、荷主企業との契約時には十分な協議の上、別途收受する料金や業務の範囲などを明確にし、書面化しましょう。

こんな料金を書面化に!

- 燃料費上昇分の料金
- 手積み・手降ろしの作業料金
- 高速道路を使った際の料金

### 03

「荷主企業との連携」って何をするの?

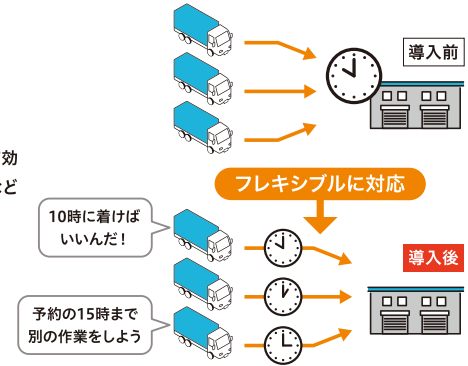
運送事業者だけの努力では2024年問題は解決できません。荷主企業との連携が不可欠であり、代表的なのが①**荷待ち時間・待機時間の削減**②**作業削減など労働環境の改善**③**リードタイムの延長**になります。

①荷待ち時間・待機時間の削減

対策 → **予約システム導入**

ドライバーの荷待ち時間の削減や輸送の効率化のための有効な手段です。また荷主企業にとっても物流施設の効率化などコスト削減につながり、双方にとってメリットがあります。

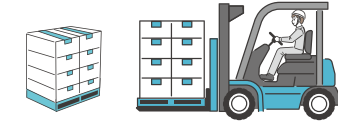
順番待ちによる渋滞や待ち時間が減り、効率化を実現!



②作業削減など労働環境の改善

対策 → **パレット化**

バラ積みバラ降ろしから、パレットに切り替えることで荷役の労力や時間が削減できるため、運送事業者から提案してみましょう。

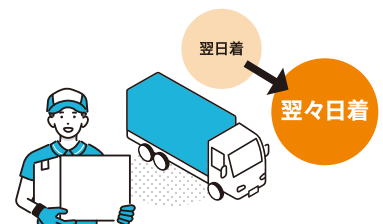


手荷役作業を減らし、労働環境を改善!

③リードタイムの延長

対策 → **翌々日納品**

これにより、例えば長距離輸送は、これまでの翌日納品から翌々日納品にすることで、満載での効率的な輸送が可能に。ドライバー不足対策として荷主企業と協議して取り組んでいきましょう。



運送事業者の物流負荷が軽減!

いよいよ4月から、物流の2024年問題が表面化します。この問題の解決に向けて、運送事業者の皆さんと荷主企業が良きパートナーとなって、対策に取り組んでいくことが必要不可欠になります。

出典：経済産業省他「物流の適正化・生産性向上に向けた荷主事業者・物流事業者の取組に関するガイドライン」、国土交通省「トラック予約受付システム」の導入事例」、公益社団法人 全日本トラック協会「知っていますか? 物流の2024年問題」「今すぐわかる標準的な運賃」「トラックドライバーの新しい労働時間規制が始まります!」